

令和3年

お盆施餓鬼・祈願大法要のご案内

法要に参加し、ご先祖さま代々の諸霊と有縁無縁の精霊に
皆さまの真心をご回向しましょう

昨年に引き続き新型と変異コロナウイルスの猛威に予断を許さない最中、ワクチン接種の効用を望むばかりです。貴家皆様には、梅雨の真っ只中に如何お過ごしでしょうかお伺い申し上げます。

さて 標記ご案内の通り、毎年恒例のご先祖さまのお盆供養、「盆大施餓鬼大法要」を、下記の要領で厳粛にお勤めいたします。この法要は、特にコロナウイルス感染の恐怖収束を願い、日々の安寧加護を祈願する盆施餓鬼法要を営みます。

法要には、皆様マスクをつけていただき、「三密」にならぬよう配慮いたします。当日は、ご先祖さまのご供養にあわせ、コロナ疫病退散を願う法要に是非ご参詣いただきますよう、ご案内申し上げます。

「お盆」とは、「盂蘭盆会(うらぼんえ)」の語源で、「逆さまに吊りさげられた苦しみ」を意味します。經典には、お釈迦様の弟子の目連さまが餓鬼道で苦しむ母を救うため、お釈迦さまの教えに従い多くの僧を招いて供養した功德によって、母は餓鬼道から救われた事に由来します。

「お施餓鬼」とは、お釈迦様の弟子の阿難さまが餓鬼に飲食を施し救われた話に由来します。施餓鬼会は、我が家の先祖だけでなく、三界万霊・有縁・無縁すべての霊に飲食を施し供養します。三界万霊とは「全ての生きとし生けるもの」を表します。

「お塔婆供養」とは、皆さまのご先祖さま・父母・祖母さまの精霊に「卒塔婆」をお供えします。塔婆供養は、施主が先祖に捧げる最大の善行とされています。

コロナ禍の世の中で、ストレスを抱えている人が昨年よりも四十%以上増えてると発表がありました。平常心を失い不安と恐怖と満たされない思いは、怒りの心となり、「心の餓鬼」を知らず知らずのうちに育てています。「ご先祖さまと三界万霊の供養に併せて「わが心の餓鬼」にも手を合せて、阿弥陀さまに見守られていることを感じながら、供養いたしましょう。そしてコロナウイルス退散を祈願し、共に皆さまの繁栄を祈りましょう。



日時 7月25日(日)午前10時

盆施餓鬼供養・ご先祖ご回向

お塔婆大供養のご回向厳修

■今年初盆に当たられる貴家は、別紙をご覧ください。

亡き人の戒名(法名)で塔婆供養されます方は7月18日迄にお申し込みください。

※今回も当日受付の混雑を避けるため、振込用紙をご利用くださいませ。

同封のお供え用紙は、当日受付にお出しくださいませ、お供物を必ずお受け取りくださいませ。尚、ご都合でお参りできない時は、事前にお供え用紙をご持参、又はご郵送ください。当日ご供養申しあげます。

お願い

良雲山 長性院

去年のお施餓鬼の風景 餓鬼への供養と、ご先祖さまへの塔婆回向を皆さまと共にいたします

